

会 議 録

会議の名称	第6回津山地域開校準備委員会		
開催日時	令和4年5月18日(水)		
	午後7時00分 開会		
	午後8時10分 閉会		
開催場所	津山老人福祉センター 2階集会室		
委員出席者	大山 豪	委員	柳津小学校PTA会長
	菅原 和彦	委員	横山小学校PTA会長
	熊谷 康成	委員長	津山中学校PTA会長
	林 三治	委員	柳津小学校学校運営協議会委員
	堀田 耕平	委員	横山小学校学校運営協議会長
	今野 政雄	委員	津山中学校学校運営協議会長
	阿部 宗幸	委員	つやま杉の子こども園保護者会副会長
	鹿野 征美	委員	柳津小学校長
	伊藤 秀樹	委員	横山小学校長
	佐藤 順子	委員	津山中学校長
事務局出席者	白岩 登世司		学校再編推進室長
	千葉 道宏		学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	西條 文武		学校再編推進室主査
	佐藤 春香		学校再編推進室主事
欠席者	阿部 篤雄	副委員長	津山町行政区長会長
傍聴者	0人		
議事	(1) (仮称)津山小学校の校章デザインの募集方法について (2) (仮称)津山小学校校歌の歌詞の選定方法について (3) 専門部会等の報告事項について		
議事	事務局	開会 午後7時00分	
	事務局	第6回津山地域開校準備委員会を開会する。 議事に入る。議長は、委員長にお願いする。	
	委員長	はじめに、本日の会議の会議録署名委員を指名する。 会議録署名委員は、大山豪委員と菅原和彦委員にお願いする。 議事1は「(仮称)津山小学校の校章デザインの募集方法について」である。前回の会議で、校章の選定方法については、デザイン案を津山地域在住の住民、津山地域の小中学校に通学する児童生徒とその保護者、津山地域の小中学校とこども園に勤務する教職員を対象に募集することに決定した。本日の会議では、具体的な募集方法について検討する。事務局に説明を求める。	
	事務局	(資料に基づき説明。)	
	委員長	説明のあった内容について、意見などはあるか。	
	委員	(意見なし。)	
委員長	確認だが、決定方法について、複数案を組み合わせる場合もあるということを追加するのか。		

事務局	先ほど説明したのは、応募用紙の決定方法の欄に、募集要領に合わせて、複数案を組み合わせる場合もあるということを追記したいということである。また、著作権等については複雑な部分もあり、何か不備があれば、事務局で修正してよいかという点も含めて決定いただきたい
委員長	それでは、議事1の「(仮称)津山小学校の校章デザインの募集方法について」は、説明のとおり募集要領と応募用紙を決定してよろしいか。
委員	(異議なし。)
委員長	それでは、事務局に6月1日からの募集に向けて準備してもらおう。次に、議事2は「(仮称)津山小学校校歌の歌詞の選定方法について」である。事務局に説明を求める。
事務局	(資料に基づき説明。)
委員	これまでの市内の事例では、どのような方法があるのか。
事務局	合併後に統合した小学校のうち、桜岡小学校と善王寺小学校が統合した米山東小学校、新田第一小学校と新田第二小学校が統合した新田小学校では、地域出身の識者や、市内又は県内在住の識者に依頼して新しく校歌を作った。
委員	識者依頼が多いということか。
事務局	佐沼小学校と森小学校、錦織小学校と嵯峨立小学校、米川小学校と鱒淵小学校のそれぞれの統合では、佐沼小学校、錦織小学校、米川小学校の校歌を使用している。
委員	識者に依頼する場合、謝礼などの予算はあるのか。
事務局	予算はあるが、識者依頼を含め、どのような方法にするかは、これから検討となるので、謝礼の方法についても過去の状況なども踏まえ考えたい
委員長	委員の中で、誰か音楽関係の方を知っているという情報はないか。
委員	家族の知人で津山出身の方から、統合の話聞き曲を考えてみたという話があった。
委員	自分も、その方を知っており、その曲を聞いたことがある。
委員	その曲が良ければ、それに詞をつけるという方法もあるのではないか。
委員	曲を作って、それに詞を付けることができるという人がいるのであれば、今後の選定も助かると思う。

委員長	時間も限られ、作曲だと専門的で誰でもできるものではないと思う。
委員	単語・フレーズが出てから、検討でも良いのではないか。公募だと時間がかかると思う。フレーズなどの材料があれば、作詞をお願いできるという人もいるのではないか。
委員長	作詞できる人の情報はなにか。
委員	次回、その曲を聞いて、それから詞を作るという方法も良いと思う。
委員	その曲のデータがあったので流してみる。 (委員のスマートフォンから曲を試聴。)
委員	横山小学校案も作ってみたが、その方の作った曲のほうが格調高いイメージで、地元の方の方が思いを持って作ったものなら案としても良いのではないか。
委員	曲に詞を付けていくことも大変だと思う。
委員	集まった単語、フレーズをはめていきながらとなるのではないか。
委員	その方は、作詞もできるのか。
委員	材料があれば、地元の方と一緒にできるのではないかと思う。
委員	前向きにやってくれると思う。
委員	そのように地元のことを一生懸命に考えてやってくれている人がいるのであれば、単語、フレーズのイメージを伝えて、歌詞も一緒に依頼してはどうか。歌詞だけ応募というのも難しいと思う。
事務局	他の考えもあるかもしれないので、各団体での情報収集や検討をお願いし、次回検討とさせていただきたい。
委員長	では、次回の会議で検討することによろしいか。
委員	(異議なし。)
委員長	議事3は、「専門部会等の報告について」である。 事務局に説明を求める。
事務局	教育課程部会について、同部会長である伊藤委員から説明がある。
委員	(「どんな学校を目指すのか」について、資料に基づき説明。)
委員長	説明のあった内容について、意見等はあるか。

委員	(意見なし。)
委員長	どんな学校を目指すのかについては、案のとおり進めてもらうことでよろしいか。
委員	(異議なし。)
委員	あと2点、ご意見をいただきたい。地域に学ぶということを考える上で、横山小学校には「みどりの少年団」というものがあり、柳津小学校、横山小学校の両校では総合的な学習の時間で、植林や杉や木の勉強もしている。閉校すると横山小学校のみどりの少年団はなくなるため、もし、津山小学校としてみどりの少年団に加盟するためには、もう一度加盟申請が必要になる。大きな活動になるので、統合後の加盟について意見をいただきたい。
委員長	意見等はあるか。
委員	植樹などの活動は良いと思う。加盟には再申請が必要になるということか。
委員	再申請が必要になるが、手続きはそれほど難しくないと思う。また、PTAでみどりの少年団の育成会を組織しなくてはならないため、PTAの了承も得ながら進めなくてはならない。
委員長	PTA関係の委員の意見はどうか。
委員	津山小学校でも、加盟して同じような活動をした方が、今後のためにも良いと思う。
委員	学校行事としてよりも、みどりの少年団という名称のもとに活動したほうがやりやすいと思うし、横山だと馴染みもあり、加盟を継続してほしいと思う。
委員	加盟して、自然の中にある学校なので、そうした体験をしてほしい。
事務局	次回まで、歌詞の件に合わせて意見集約してもらってはどうか。
委員	PTA部会にも関連して、育成会のこともあるので、PTAでも広く話を聞いてほしい。
委員長	それぞれ所属団体に持ち帰り、話をしていただきたい。
委員	もう一点、横山小学校では、学校の近くに田んぼを借りて田植え、稲刈りをし、1年生から3年生までは畑での活動もしている。その部分についても、引き継いでいくのかどうかについて意見をいただきたい。
委員	柳津小学校には、校地内に畑はあるが田んぼはない。

委員	この部分をどのように受け継いでいくか検討したい。柳津小学校では、今の畑の場所は校舎の改修にかからないのか。
委員	児童活動センターの建設で、畑にかかる可能性はある。
事務局	校舎の改修に合わせて、児童活動センターの建設も実施設計を行っており、河川との関係で位置は調査中で、詳細はこれからになるが、畑にかかることとなれば、畑の移設も含めて検討する必要があると考えている。
委員	学校では、農業経験や栽培の経験は必要だと思う。田んぼを貸してくれる人などの情報を教えてもらいたいと考えている。
委員長	地域の他の会議などでも、田んぼや畑での作業を通じて、地域の方と密接に色々つながりを持ってほしいという話しも聞いており、子どもたちにとっても農作業などは貴重な経験だと思う。
委員	柳津小学校に旧西校舎があったときは、今の給食センターの裏の方に、学校で畑を借りていた。
委員	学校周辺で、空いている畑があるのではないかな。
委員	できれば、校地内にあると子どもが休み時間などに自由に行ける。校地外にあると、道路を渡るなど事故の危険もある。校地内であれば、現在の防災倉庫のあたりに移設できれば良いと考える。
委員	教育委員会と学校で相談してほしい。
委員	田植えと稲刈りだけであれば、横山の今の田んぼを借りて、バスで移動してもいいのではないかな。
委員	田んぼも敷地内にあって、子どもが自由に行けることが理想である。
委員	学校によっては、バケツで稲を育てているところもあるようである。
委員長	そういったことも、これからの検討となる。 その他、事務局で何かあるか。
事務局	「(仮称)津山小学校の施設整備について」の説明をさせていただく。 (参考資料に基づき説明)
委員長	説明のあった内容について、意見などはあるか。
委員	図書室を大きくしてほしいという意見もあったと思うが、部屋数は増やさないのか。
事務局	今の部屋の間取りを工夫してとなる。コンピュータ室を他の用途で使用

		するということも検討の材料にしていく。
委員		理科室と図工室は分けたい。パソコンは、タブレットを使っているので教室で十分だと思う。
事務局		その点に関しても、先生方の話を聞きながら、また、開校準備委員会でも意見をいただきながら検討していきたい。
委員		木質化では、杉などを使うのか。
事務局		まだ、材質まではわからないところだが、地域のゆかりのものを選定していく必要があると考えている。設計業者も先月から入っており、調査を行っているので、予算のことも含め、どのようにできるかが出てきてから説明させていただく。
委員		設計業者には、理科室と図工室を分けることは基本として設計段階からお願いしなければならないのではないかと。どのような改修にするかという設計業者への依頼の集約はどのようにするのか。
事務局		現在は、設計業者が校舎全体の調査を行っており、これから間取りを含め設計を行っていくことになる。その前段階では、柳津小学校の先生方とも話をしながら、こういった校舎の使い方が良いかを決めた上で、詳細な内容を検討していくことになる。 順次、資料ができ次第、開校準備委員会でも示していく。
委員長		他に意見はないか。 それでは、次回の会議日程を決定したい。
事務局		事務局としては、次回の会議は、単語・フレーズの集計や意見集約もあるので、6月8日水曜日の午後7時で設定させていただきたい。
委員長		今回は、6月8日水曜日の午後7時からで良いか。
委員		(異議なし。)
委員長		議事は以上となる。事務局に、進行を戻す。
事務局		以上で、第6回津山地域開校準備委員会を閉会する。
事務局		閉会 午後8時10分